

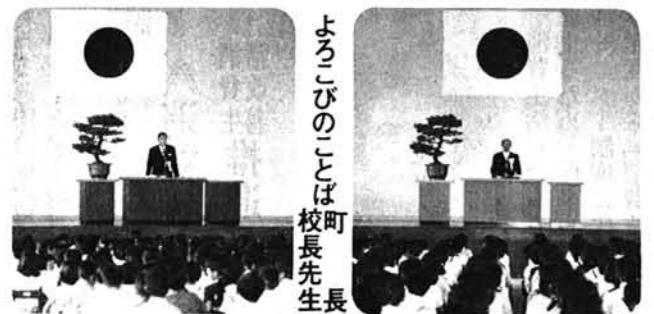
与板小学校竣工式に参列して

II 教育委員長 II 萩尾 一夫

近代建築の粹をこらした
堂々たる鉄筋校舎、明るい
体育館、それに広々とした
屋外校庭。新しい与板小学
校の竣工式は昭和四十九年六
月四日の快晴の佳き日にと
どおりなく執行された。
来賓の祝辞の中に、与板
小学校は三島郡の最名門校
として百年の伝統を維持し、
いま又新校舎建築と云う偉
業をなした与板町に、讃辞
をおくる意味の言葉が多々

あつたようである。
又もつとも印象的だった
のは当銀校長が興奮気味の
挨拶のなかで、新校舎の中
で百年の伝統に何を加えて
行くかがこれから教職員
一同の研究課題である、と
決意をのべられたことであ
った。
最近の世相の中につて
私達は次第に未来志向的と
なり、現状に漠然たる不安
を抱きつつある。他面にお

いて過去の奥深い伝統は、
現在と言う鏡面によつて遠
い未来に投影されるものだ
とも考えられている。
新しい校舎の中で、日本
の未来を背負う児童をいか
に育成すべきか、生涯教育
の出発点に立つ児童の無限
の可能性の萌芽の育成のた
めに、現場の諸先生は勿論
のこと、家庭も、更に町民
こそが、物言わぬ新校舎
の願いではあるまい。
竣工式場で校歌を聞き、
また自らもうたいながらの
印象記です。



学問の与板町

六年竹組 平沢 俊哉

ルだとまちがえるかもしれません。
新校舎では、ベルではなく
くつてチャイムだから、う
るさくなくつて、よかつた
と思っています。
これからは、勉強がしや
すくなると思っています。
これから、新校舎だから
古校舎の時よりも、もつと
もつと、せいそうををちゃ
んとやつて、きれいな学校
にしたいと思つています。
だから、私も、いっしょ
うけんめいがんばります。

さる町の方々。
ぼくたちは、こんなかん
きょうの中での、明るくすく
すくと育つきました。
そして新校舎のよろこび、
広い体育館、明るい図書
館、すばらしい校舎で学習
できることは、町の方々の
おかげだと思います。
町の方々に、感謝すると
ともに、学習や体育に、精
いっぱいはげみます。

新校舎へ移つての希望

六年竹組 岡村 京子

いことはたくさんあります。
すばらしい校舎でしてみた
ことがあります。そして、みんな
の心がひとつにまとまり、いつも明るい笑い声が
聞こえていたらしいなあと
思います。そして、先輩の方々がつくってくれた伝
統の上に、新しいものを積み重ねながら、200年目へと
向かいたいと思います。
すばらしい校舎を、ほんとうにあります。ありがとうございます。



＊＊＊はりつめたよろこび＊＊＊

小学校長 当 銀敏雄

昭和四十九年六月四日、与板小学校竣工、この佳い日にめぐり合えたよろこびを思う。
①すばらしい自然がある。清風園こそ遠くなつたが、広々としたグランド、雄大な自然がある。
②伝統に輝やく土地である。先輩が陸上競技で心身を鍛え、県下に「与板あり」の名声をとどろかせた思い出多い土地である。

③配慮細かい特別教室がで

きている。特別教室ができないことが、かなえられ、「なすことによつて学ぶ」こと



▲思い出の校舎にさようならを
おとうさん・おかあさんも引越しの手伝いを▼

▼新しい校舎へむかって



